

地方公共団体における効果的な熱中症対策 の推進に係るモデル事業

日時

令和6年

2月6日(火) 14:00 - 17:00

方法

オンライン (Webex)

環境省では、今後起こりうる顕著な高温も見据えた熱中症対策の一層の促進に向け、法制化も含めた検討を行っています。具体的には、新たな対策として、現行より一段上の熱中症特別警戒アラートの創設、指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）の指定・開放や、熱中症対策を普及、推進していく地域団体の活用などについて、検討を進めています。これらの対策を円滑に実施するためには、地域の協力・連携が不可欠であり、地域との連携強化の取組の一つとして、令和3年度より実施している「地方公共団体における効果的な熱中症予防対策の推進に係るモデル事業」を、令和5年度でも引き続き実施し、地域におけるより先進的でより具体的な熱中症対策の更なる充実と浸透を図ることを目指して取り組んで参りました。

本報告会では、各地方公共団体における熱中症対策に関する指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）の指定・開放に係る試行、高齢者への声かけ、庁内外の連携等、施策の参考となるモデル事業の取組についてご紹介致します。

申し込みは[こちら](#)

参加登録期限：2月2日(金) 17:00迄



URL：<https://erca1310.webex.com/weblink/register/r3d2b0729d82dc1f48d21c2a77c1ccf04>

2月6日(火) 14:00 開会

- 14:00 開会挨拶（環境省）
- 14:05 温湿度計による室温の可視化とエアコンの利用促進（埼玉県）
- 14:30 墨田区薬剤師会との協同（クーリングシェルターの活用）（墨田区）
- 14:55 熱中症対策のデジタル化への取り組み（熊谷市）
- 15:20 休憩
- 15:35 神戸市異常高温対策事業（神戸市）
- 16:00 救急搬送者を一人でも減らすための熱中症対策（吹田市）
- 16:25 地域のつながりを活かし、皆で予防対策を呼びかけあう熱中症対策事業（鳥取市）
- 16:55 閉会 ※退出時のアンケートにご協力ください。

【各自治体の事業概要】

埼玉県：温湿度計による室温の可視化とエアコンの利用促進

睡眠時の適切なエアコン使用の重要性を高齢者が理解し、行動変容するために有効なアプローチ方法について検討した。介入方法（温湿度計設置、健康教育実施）の異なる3群に高齢者を分けて睡眠時のエアコン使用状況等の記録をつけてもらい、働きかけの効果を検証した。また、県内の市町村に対して、クーリングシェルの指定・開放に係る説明会を開催するほか、庁内体制の整備を行い、庁内外の連携の強化を図った。

墨田区：墨田区薬剤師会との協同（クーリングシェルの活用）

共同実施者の協力のもと、「すみだひと涼みスポット薬局」を開設し、特にハイリスク者である高齢者や基礎疾患がある区民に、熱中症に関する啓発を行うことができた。また、効果及び課題を明らかにするために、利用者にアンケートを行った。また、75歳以上の一人暮らし及び高齢者のみ世帯に対しては、涼み処一覧付きの案内文の送付等を行うほか、「高齢者みまもり相談室」職員が熱中症の予防啓発訪問時に麦茶（顆粒）等を配布するなど熱中症対策の注意喚起を行った。

熊谷市：熱中症対策のデジタル化への取り組み

市内11施設で、過去に例のない大熱波を想定した、クーリングシェルの指定・開放に係る試行事業を行った。また、駅やショッピングモール、公園といった多くの人が行きかう場所の自動販売機にデジタルサイネージを設置し、クーリングシェルの告知及び熱中症予防に関する動画や画像を放映するなど暑さ対策の案内や啓発を行った。昨年に引き続き、熱中症対策アイデアコンテストを実施し、熱中症対策の周知を図った。

神戸市：神戸市異常高温対策事業

市街地である三宮エリアにおいて、市役所本庁舎をクーリングシェルとして活用できるかについて試行事業を実施した。本事業では、スタッフ等が常駐するクーリングシェルとして開設し、利用に係るアンケートやヒアリングを実施した。併せて、気候変動適応近畿広域協議会の広域アクションプランとしても推進する日傘の普及啓発のため、体験イベントを開催し、アンケートを行った。

吹田市：救急搬送者を一人でも減らすための熱中症対策

介護保険事業者の協力を得て、ケアマネジャー等の高齢者の介護サービスに従事する方に対する講習会や、高齢者の熱中症リスクの実態についてのアンケート調査、意見交換会を実施し、高齢者への効果的な普及啓発の検討を実施した。また、大学や高校の部活の指導者においても情報交換を行うプラットフォーム会議を開催し、現場の方々の熱中症の知識向上を図り、熱中症リスクへの対応力の底上げを行った。

鳥取市：地域のつながりを活かし、皆で予防対策を呼びかけよう熱中症対策事業

地域の民生委員の協力を得て、高齢者宅訪問（声かけ）等による注意喚起を行った。特にリスクの高い75歳以上の独居高齢者の屋内における熱中症の予防啓発のため、訪問時に温湿度計の配付を行い、温度・湿度計測の習慣化及び高齢者が熱中症を自分事として再認識し、自らのリスク低減につながる行動変容を目的に取組を進めた。また、市内131か所にクールシェルを設置し、協力施設にステッカーを配付するほか、協力施設に対してアンケートを行い、分析を行った。

モデル事業成果報告会に関する問い合わせ

（事務局）独立行政法人環境再生保全機構（ERCA）

mail : info-heat@erca.go.jp 電話 : 044-520-9584

【令和6年度事業のご案内】

令和6年度地方公共団体における効果的な熱中症対策の推進に係るモデル事業

環境省では、地域における効果的な熱中症対策を推進するため、昨年度に引き続き、「令和6年度地方公共団体における効果的な熱中症対策の推進に係るモデル事業」において取組を実施する地方公共団体を公募します。

応募受付期間：令和6年1月9日（火）から2月9日（金）まで

詳細は以下の環境省報道発表より公募要領を御確認ください。

URL : https://www.env.go.jp/press/press_02598.html



【本件に関する問い合わせ：netsu@env.go.jp 環境省大臣官房環境保健部環境安全課】